

豊橋開拓土地改良区

○地域の特徴

開拓地域は、豊橋市の南部に位置し、その大部分は旧軍用地に属した高師原、天伯原の旧陸軍演習場及び大清水飛行場跡地で、戦後、国営開墾建設事業により、農用地に造成された開墾地です。

また、開墾地に隣接する増反地を併せた区域が土地改良区の地域になります。

○組織概要

受益面積	9 4 1 ha
受益地	豊橋市南部地域（27町）
組合員数	2, 1 3 3名
総代数	4 5名
役員数	1 3名
設立	昭和42年（1967年）
職員数	3名

○取り組み

当改良区が管理する24揚水機場のすべてにICTシステム（遠隔監視制御）を導入して、管理労力の省力化を図り、集中監視を実施しています。

揚水機場のファームポンド（貯水池）の上部に太陽光発電設備を設置して、維持管理コストの軽減を図るとともに、地球温暖化による環境負荷低減（二酸化酸素の削減）、災害時における非常用電源及び生活用水の確保するため、蓄電池、浄水装置を備え、防災拠点として地域貢献の活動に取り組んでいます。